

公共建築工事見積標準書式

(建築工事編)

平成24年版(改)

公共建築工事見積標準書式

目 次

第1章 一般事項

1. 見積書の構成	1
(1) 見積依頼時	1
(2) 見積書	1
2. 各書式の内容	1
(1) 見積依頼書	1
(2) 見積書表紙	2
(3) 見積内訳書	2
(4) 見積条件書	2

第2章 書式

1 見積依頼書	3
2 見積書式	
(1) 土工・地業	
① ウェルポイント工事	4
② ディープウェル工事	8
③ 親杭横矢板工事	12
④ 鋼矢板工事	18
⑤ ソイルセメント柱列壁工事	24
⑥ 山留め支保工・切ばり腹起し工事	29
⑦ 地盤アンカー工事	37
⑧ 乗入れ構台工事	41
⑨ 既製コンクリート杭工事	50
⑩ 場所打ちコンクリート杭工事	54
(2) 躯体工事	
① 鉄骨工事	59
(3) 仕上工事	
① 既製コンクリート工事(ＡＬＣ工事)	64
② 石工事	67
③ タイル工事	70
④ 木工事	73
⑤ 金属工事	76
⑥ 建具工事(金属製建具、シャッター、木製建具)	79
⑦ ガラス工事	92
⑧ カーテンウォール工事(アルミ及びＰＣ)	95
⑨ 仕上ユニット工事	103
⑩ 書架工事	106
⑪ 植栽工事	109
(4) とりこわし工事	
① とりこわし工事	112

本書式は工事価格の積算に際し参考とする製品及び専門工事価格について、製造業者を含む専門工事業者（以下「専門工事業者」という。）から適正な見積価格を得るために使用する書式として、基本的な構成、記載項目等を示すものである。

第1章 一般事項

1. 見積書の構成

見積書は、工事における一定条件のもと、依頼者の要求する仕様を満足する製品等の価格、金額について専門工事業者より提出してもらう書類であり、その手続きに必要な書類及び見積書の構成は以下による。

なお、本書式で定められていない見積については、本書式に準じた書式で作成するものとする。

(1) 見積依頼時

- ① 見積依頼書
- ② 見積条件書
- ③ 設計図書、仕様書等（見積りに必要な部分を発行する。）
- ④ 見積書表紙（必要に応じて発行する）
- ⑤ 参考数量（必要に応じて発行する）

(2) 見積書

- ① 見積書表紙
- ② 見積内訳書
- ③ 見積条件書（見積依頼時の見積条件を踏まえ、条件を整理し明示する）
- ④ (1)において発行された設計図書、仕様書等（必要に応じて返却）

2. 各書式の内容

(1) 見積依頼書

見積依頼に際し、依頼する物件に関する情報について取りまとめた書類である。

なお、見積作成における項目立ての注意や、見積条件が異なる場合の対応方法についての記述が必要な場合も見積依頼書に記入する。

以下に代表的な記載項目を示す。

① 工事概要に係わる項目

- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 予定工期

② 建物概要に係わる項目

- ・ 構造
- ・ 階数
- ・ 建築面積、延床面積

③ 提出に係わる項目

- ・ 提出期限
- ・ 提出先宛名
- ・ 提出部数
- ・ 提出方法
- ・ 見積依頼者氏名
- ・ 見積依頼者連絡先

④ 与条件

- ・ 支給品の有無
- ・ 施工条件等

(2) 見積書表紙

見積書表紙には、見積金額（合計金額）の他に以下に示す対象工事に係る項目と、作成者に係る項目を記載する。

① 対象工事に係る項目

- ・ 工事名
- ・ 工事場所
- ・ 見積発行年月日
- ・ 見積有効期限
- ・ 受け渡し方法
- ・ 支払い条件

② 作成者に係る項目

- ・ 製造業者又は専門工事業者等名
- ・ 同上 所在地
- ・ 同上 代表者氏名
- ・ 同上 代表者印 又は 社印
- ・ 見積作成者 氏名
- ・ 見積作成者 連絡先（TEL 及び FAX 番号）

(3) 見積内訳書

見積内訳書は、見積対象の品目、工事を要求仕様、摘要、項目毎に当該金額が記載されるようにした書類である。

本標準書式にて様式を定めている品目、工事等については、原則として当該様式を活用するものとし、様式を定めていない品目、工事等については、本書式に準じて作成するものとする。

ただし、依頼者の都合で材料明細等の項目等に区分して記載してもらう必要がある場合等には、見積依頼書等を作成し、依頼者の希望する区分内容を明確に伝達する。

専門工事業者の諸経費（現場管理費及び一般管理費等）は、原則として工事費とは別に独立させ表現する。ただし、発注者の指示がある場合など、必要に応じて諸経費込みの単価とすることができる。

本標準書式中の法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。なお、製品製造工場の労働者の法定福利費は、製品価格に含むものとする。

(4) 見積条件書

見積条件書は、工事見積に際し依頼者が作成し、工事範囲に含める事項、含めない事項等を明確にし、依頼者の意図する見積対象範囲や施工条件等を作成者へ正確に伝えるための書類である。

また、作成者に見積条件が正しく伝わったことを確認するためのチェックリストとしての意味合いも持たせている。

記入例として示してあるものは、標準的な例であり建物の規模、地域特性により修正の必要な場合がある。

第2章 書式

原則として、書式は以下による。

見 積 依 頼 書

(依頼先)

御中

平成 年 月 日

工 事 名	

表記見積の件、添付の見積条件及び設計図書により、見積書の提出をお願いします。

なお、質疑等がある場合には、 月 日までに、
担当者宛に書面にてご提出下さい。

(部 署)	
(担 当)	印
(所在地)	
(TEL)	— —
(FAX)	— —

工 事 概 要 及 び 設 計 図 書 等

提出期限	平成 年 月 日 時まで [提出部数 正 部 、 副 部]	
提出先宛名		
提出先部署		
工事場所		
建 物 概 要	構 造	☐ RC造 ☐ SRC造 ☐ S造 ☐ その他()
	階 数	地下 階 地上 階 塔屋 階
	面 積	建築面積 m ² 延床面積 m ²
予 定 工 期	平成 年 月 ～ 平成 年 月	
設 計 図 書	設計図書	計 枚
	仕 様 書	工事別冊仕様書 現場説明事項書 冊 資 料 (資料名) 冊()
支 給 品	有無・条件	☐ 有 ☐ 無
施工条件等		

・法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。なお、製品製造工場の労働者の法定福利費は、製品価格に含むものとする。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L - -

F A X - -

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ウエルポイント工事						
1 準備費		1	式			
2 設置及び撤去費		1	式			
3 保守管理費		1	式			
4 機材損料		1	式			
5 雑材料		1	式			
6 運搬費		1	式			
7 その他工事費		1	式			
8 諸経費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 準備費	準備、設備、養生等	1	式			
2 設置及び撤去費						
設置工		1	式			
ヘッターライン			m			
ウエルポイント			本			
ウエルポイントポンプ			組			
雑設置工		1	式			
撤去工		1	式			
ヘッターライン			m			
ウエルポイント			本			
ウエルポイントポンプ			組			
2 計						
3 保守管理費			日			ポンプ 組 運転 日
4 機材損料	ウエルポイント使用材		m日			ヘッターパイプ 設置m×日
5 雑材料	雑材及び荒目砂	1	式			
6 運搬費						
材料搬入搬出	t車		台			
雑材運搬	t車		台			
6 計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック欄に○印のものは見積に含む)

専門業者の範囲				元請業者の範囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
建設発生土処分(普通土)	○			詰所建物	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			労災保険	○		
				障害物撤去	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				下水道使用料金	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。

2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。

3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ディープウェル工事費						
1 準備費		1	式			
2 掘削費		1	式			
3 消耗材料費		1	式			
4 設置費		1	式			
5 撤去費		1	式			
6 保守管理費		1	式			
7 建設発生土及び汚泥処理費		1	式			
8 機械損料		1	式			
9 揚水井戸洗浄工事		1	式			
10 運搬費		1	式			
11 関連工事費		1	式			
12 諸経費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 準備費	準備、設備、養生等	1	式			
2 掘削費	ϕ L= m × 本		m			
	掘削機械、労務費					積込み費を含む場合
3 消耗材料費	ケーシングパイプ ϕ - ケーシングパイプ ϕ -		m			
	ストレーナー加工 式スクリーン サントフィルター用砂利 m3					
	雑消耗材(上蓋下蓋、吊りフック等)					
4 設置費	ケーシング工 潜水モーターポンプ		m			
	排水管、雑設置工 注水設備工(配管及びタンク加工等)					
5 撤去費	潜水モーターポンプ 雑撤去 盛り替工事		m			
6 保守管理費	運転補修費(締切工事及び ポンプ盛替等)を含む保守費		月			
7 建設発生土及び 汚泥処理費						
建設発生土積込み			m ³			掘削に含めない場合
建設発生土運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
建設発生土処分	tダンプ車 処分場		台			
汚泥(泥土) 積込み	産業廃棄物		m ³			
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		台			
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			
7 計						
8 機械損料	潜水モーターポンプ 日 × 台 配水管ケーシング、雑材料		台			
9 揚水井戸洗浄工事	仮揚水工 雑工		か所			

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
設置工事														
機械解体、搬出														
運転・管理														
撤去工事														

施 工 時 間	開始 午前 時 分 ～ 終了 午後 時 分
---------	-----------------------

施 工 方 法

材料数量・施工数量

工 区 名								計
ディープウェル径 φ	mm							
ディープウェル本数	本							
水中ポンプ径 φ	mm							
1本の掘削長さ	m							
掘削延長	m							
掘削土量	m ³							
掘削用粘土	m ³							
使用水量	m ³							
廃泥水量	m ³							
充填豆砂利	m ³							
ストレーナー長さ	m							

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック 欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
建設発生土処分(普通土)	○			詰所建物	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			労災保険	○		
				障害物撤去	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				下水道使用料金	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中 平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所
会 社 名 印
担 当
T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
親杭横矢板工事						
1 準備費		1	式			
2 材料費		1	式			
3 施工費		1	式			
4 汚泥処理費		1	式			
5 建設発生土処理費		1	式			
6 専用仮設費		1	式			
7 諸経費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 材料費						
(賃貸材)						
H- ×	L= × 本 t		t日			
H- ×	L= × 本 t		t日			
賃貸材 整備費			t			
賃貸材 損耗費			t			
搬入 運搬費	現場取降し費共 t車台		台			
搬出 運搬費	現場積込み費共 t車台		台			
基地積込 取卸し費用			t			
小計						
(買取り材等)						
H- ×	L= × 本 t		t			
H- ×	L= × 本 t		t			
雑材料		1	式			
上記材料運搬費	t車 台 t車 台		組			
基地積込 取卸し費用			t			
小計						
2 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 施工費						
(1) 材料費	セメント、ベントナイト、フライアッシュ、砂等		m ³			
(2) 親杭打込み費						
(施工機械運搬 組立解体費)						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
プラント //		1	式			
小計						
(親杭打込み費)						
親杭打込み	H- 工法 ×		m			
	施工機械、合番重機、根固め材料、消耗品、労務費共					
親杭打込み	H- 工法 ×		m			
	施工機械、合番重機、根固め材料、消耗品、労務費共					
親杭継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
親杭継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
小計						
(頭継ぎ取付け費)						
頭継ぎ取付け	[- × 継手 1か所		m			
	ブラケット 1か所 ブラケット 1か所					
	材料費、運搬費、加工費、取付け費共					
小計						
(2) 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3) 親杭引抜き費						
(施工機械運搬組立 解体費)						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
小計						
(親杭引抜き費)						
親杭引抜き	工法 H- ×		m			
	引抜き機械、合番重機 継手解体、消耗品					
	引抜き時親杭頭出し掘削 親杭引抜き跡埋め戻し共					
親杭引抜き	工法 H- ×		m			
	引抜き機械、合番重機 継手解体、消耗品					
	引抜き時親杭頭出し掘削 親杭引抜き跡埋め戻し共					
小計						
(頭継ぎ取付け費)						
頭継ぎ取付け	[- × 撤去、処分共		m			
小計						
(3) 計						
3 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 汚泥処理費						
汚泥(泥土) 積込み	施工機械の賃貸料含む		m ³			必要により 計上
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			必要により 計上
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		台			必要により 計上
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			必要により 計上
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			必要により 計上
4 計						
5 建設発生土処理費						
建設発生土積込み	施工機械の賃貸料、手間含む		m ³			必要により 計上
建設発生土運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			必要により 計上
建設発生土処分	tダンプ車 処分場		台			必要により 計上
5 計						
6 専用仮設費						
重機回り敷き鉄板	材工共含む	1	式			
6 計						
7 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
8 労務に係る法定福利費		1	式			
1～8 計						

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
親杭施工														
機械解体、搬出														
横矢板入れ														
機械搬入、組立														
親杭引抜き														
機械解体、搬出														

施 工 時 間	開始 午前	時	分	～	終了 午後	時	分
---------	-------	---	---	---	-------	---	---

施工方法

材料数量・施工数量

工 区 名								計
親杭寸法	H							
親杭本数	本							
親杭根入れ深さ	m							
親杭延長	m							
山留め水平延長	m							
根切り深さ	m							
親杭掘削土量	m ³							
使用水量	m ³							
廃泥水量	m ³							

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
場内専用道路(山留専用)	○			詰所建物	○		
重機回り敷き鉄板	○			労災保険	○		
建設発生土処分(普通土)	○			障害物撤去	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			試験掘	○		
親杭頭繋ぎ	○			照明用電力設備1次側	○		
引抜き時親杭頭出し掘削	○			給排水設備1次側	○		
親杭引抜き跡埋戻し	○			用水費(水道料金)	○		
埋殺し親杭頭部切断	○			横矢板入れ	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中 平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所
会 社 名 印
担 当
T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼矢板工事						
1 準備費		1	式			
2 材料費		1	式			
3 施工費		1	式			
4 汚泥処理費		1	式			
5 建設発生土処理費		1	式			
6 専用仮設費		1	式			
7 諸経費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 材料費						
(賃貸材)						
SPⅡ 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t日			
SPⅢ 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t日			
SPⅣ 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t日			
SPVL 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t日			
賃貸材 整備費			t			
賃貸材 損耗費			t			
搬入 運搬費	現場取降し費共 t車		台			
搬出 運搬費	現場積込み費共 t車		台			
基地積込 取卸し費用			t			
小計						
(買取り材等)						
SPⅡ 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t			
SPⅢ 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t			
SPⅣ 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t			
SPVL 型	$L = \frac{m}{t} \times \text{枚}$		t			
鋼矢板 継手材料	PL- × 枚 ボルトナット共		t			
雑材料		1	式			
上記材料運搬費	t車 台 t車 台		組			
基地積込 取卸し費用			t			
小計						
2 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 施工費						
(1) 材料費	セメント、ペントナイト、フライアッシュ、砂等		m ³			
(2) 鋼矢板打込み費						
(施工機械運搬組立解体費)						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
プラント //		1	式			
施工機械組立解体費		1	式			
小計						
(鋼矢板打込み費)						
鋼矢板打込み	工法 SPII型 SPIII型 IV型 VL型		m			
	施工機械、合番重機 根固め、消耗品、労務費共					
鋼矢板打込み	工法 SPII型 SPIII型 IV型 VL型		m			
	施工機械、合番重機 根固め、消耗品、労務費共					
鋼矢板継手	SPII型 III型 IV型 VL型 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、 ボルトナット等、材工共					
鋼矢板継手	SPII型 III型 IV型 VL型 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
基地積込取卸し費用			t			
小計						
(頭継ぎ取付け費)						
頭継ぎ取付け	[- × 継手 か所		m			
	材料費、運搬費、加工費、 取付け費共					
小計						
(2) 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3) 鋼矢板引抜き費						
(施工機械運搬 組立解体費)						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
小計						
(鋼矢板引抜き費)						
鋼矢板引抜き	工法 SPII型 SPIII型 IV型 VL型		m			
	引抜き機械、合番重機 継手解体、消耗品					
	引抜き時親杭頭出し掘削 親杭引抜き跡埋め戻し共					
鋼矢板引抜き	工法 SPII型 SPIII型 IV型 VL型		m			
	引抜き機械、合番重機 継手解体、消耗品					
	引抜き時親杭頭出し掘削 親杭引抜き跡埋め戻し共					
小計						
(頭継ぎ撤去費)						
頭継ぎ撤去	[- × 撤去、処分共		m			
小計						
(3) 計						
3 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 汚泥処理費						
汚泥(泥土) 積込み	材工共		m ³			必要により 計上
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			必要により 計上
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		台			必要により 計上
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			必要により 計上
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			必要により 計上
4 計						
5 建設発生土処理費						
建設発生土 積込み	積込重機手間共		m ³			必要により 計上
建設発生土 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			必要により 計上
建設発生土 処分	tダンプ車 処分場		台			必要により 計上
5 計						
6 専用仮設費						
重機回り敷き鉄板	材工共	1	式			
6 計						
7 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
8 労務に係る法定福利費		1	式			
1～8 計						

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
鋼矢板施工														
機械解体、搬出														
機械搬入、組立														
鋼矢板引抜き														
機械解体、搬出														

施 工 時 間	開始 午前 時 分	～	終了 午後 時 分
---------	-----------	---	-----------

施工方法

材料数量・施工数量

鋼矢板寸法	SPⅡ型	SPⅢ型	SPⅣ型	SPV型			計
鋼矢板枚数							
鋼矢板1枚実長							
鋼矢板水平延長							
鋼矢板(深さ)							
鋼矢板延面積							
掘削土量							
使用水量							
廃泥水量							

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
重機回り敷き鉄板	○			詰所建物	○		
建設発生土処分(普通土)	○			労災保険	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			障害物撤去	○		
鋼矢板頭繋ぎ	○			試験掘	○		
				照明用電力設備1次側	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	ソイルセメント柱列壁工事					
1	準備費	1	式			
2	材料費	1	式			
3	施工費	1	式			
4	汚泥処理費	1	式			
5	専用仮設費	1	式			
6	建設発生土処理費	1	式			
7	諸経費	1	式			
	計					

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 材料費						
(売却材)						
H- ×	L= × 本 t		t			
H- ×	L= × 本 t		t			
材料荷扱費			t			
材料運搬費			t			
雑材料		1	式			
注入材	セメント、ベントナイト		m ³			
2 計						
3 施工費						
(1) 施工機械運搬組立解体費						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
プラント //		1	式			
(1) 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2) ガイド工事費						
ガイド溝掘り	W= × H= 施工機械、合番重機		m			
	労務費 不用土処分共					
ガイド定規設置	定規材 H- ×		m			
	受材 H- × @					
	損料、修理費、運搬費 施工機械、合番重機					
	労務費共					
(2) 計						
(3) 先行掘削工事費						
先行掘削	壁厚 mm 杭長 m		m			
	施工機械、合番重機 消耗品、労務費					
	建設発生土処分共					
(3) 計						
(4) 柱列壁工事費						
柱列壁	壁厚 mm 杭長 m		m ²			
	施工機械(三軸機)、合番重機 プラント設備					
	根固め、消耗品、労務費共					
芯材建込み	H- × L= 施工機械、労務費共		本			
芯材建込み	H- × L= 施工機械、労務費共		本			
芯材継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
芯材継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
(4) 計						
3 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 汚泥処理費						
汚泥(泥土) 積込み	産業廃棄物		m ³			
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		台			
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		m ³			
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			
4 計						
5 専用仮設費						
重機回り敷き鉄板		1	式			
5 計						
6 建設発生土処理費						
建設発生土 積込み			m ³			
建設発生土 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
建設発生土 処分	tダンプ車 処分場		台			
6 計						
7 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
8 労務に係る法定福利費		1	式			
1～8 計						

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
ガイド溝掘り定規設置														
柱列壁工事														
機械解体、搬出														

施 工 時 間	開始 午前	時	分	～	終了 午後	時	分
---------	-------	---	---	---	-------	---	---

施工方法

材料数量・施工数量

	mm							計
ソイルセメント柱列壁削孔本数	本							
ソイルセメント柱列壁深さ	m							
ソイルセメント柱列壁水平延長	m							
ソイルセメント柱列壁延面積	m ²							
削孔混練土量	m ³							
使用水量	m ³							
ソイルセメント柱列壁心材仕様								
ソイルセメント柱列壁芯材本数	本							
ソイルセメント柱列壁心材実長	m							
心材総重量	t							

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
重機回り敷き鉄板	○			詰所建物	○		
建設発生土処分(普通土)	○			労災保険	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			障害物撤去	○		
ガイド溝掘・ガイド定規材	○			試験掘	○		
ソイルセメント柱列壁頭繋ぎ	○			照明用電力設備1次側	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				法定福利費	○		

- 注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名

印

担 当

T E L

— —

F A X

— —

印

印

印

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
山留め支保工 中間杭・切ばり腹起し						
A 中間杭工事費		1	式			
B 切ばり腹起し工事費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 中間杭工事費						
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 中間杭材料費						
(賃貸材日額損料)						
H- ×	L= × 本 t		t日			
H- ×	L= × 本 t		t日			
賃貸材 整備費			t			
賃貸材 損耗費			t			
搬入 運搬費	現場取降し費共 t車		台			
搬出 運搬費	現場積込み費共 t車		t			
基地積込取卸し費用			t			
小計						
(買取り材等)						
H- ×	L= × 本 t		t			
H- ×	L= × 本 t		t			
雑材料		1	式			
上記材料運搬費	t車 台 t車 台		組			
基地積込費用			t			
小計						
2 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 施工費						
(1) 材料費	セメント、ペントナイト、フライアッシュ、砂等		m ³			
(2) 施工機械運搬組立解体費						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
(2) 計						
(3) 中間杭打込み、撤去費						
(中間杭打込み費)						
中間杭打込み	H- 工法 ×		m			
	工機械、合番重機、根固め 重機手間、消耗品、労務費共					
中間杭打込み	H- 工法 ×		m			
	施工機械、合番重機、根固め 重機手間、消耗品、労務費共					
中間杭継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
中間杭継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
(中間杭打込費)小計						
(中間杭撤去費)						
中間杭撤去	H- 工法 ×		か所			
	引抜き機械、合番重機、 労務費、礎版部粗切断等含					
中間杭撤去	H- 工法 ×		か所			
	引抜き機械、合番重機、 労務費、礎版部粗切断等含					
(中間杭撤去費)小計						
(3) 計						
3 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 汚泥処分費						
汚泥(泥土) 積込み	施工機械の賃貸料含む		m ³			
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		台			
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			
4 計						
5 建設発生土処理費						
建設発生土積込み	施工機械の賃貸料含む		m ³			
建設発生土運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
建設発生土処分	tダンプ車 処分場		台			
5 計						
6 専用仮設費						
重機回り敷き鉄板	材工費	1	式			
6 計						
7 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
8 労務に係る法定福利費		1	式			
1～8 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
B 切ばり腹起し工事費						
a 第1段切ばり腹起し工事費						
1 準備費		1	式			
2 材料費		1	式			
3 施工費		1	式			
4 プレロード費		1	式			
(第1段切ばり腹起し 工事費)計						
b 第2段切ばり腹起し工事費						
1 準備費		1	式			
2 材料費		1	式			
3 施工費		1	式			
4 プレロード費		1	式			
(第2段切ばり腹起し 工事費)計						
c 第3段切ばり腹起し工事費						
1 準備費		1	式			
2 材料費		1	式			
3 施工費		1	式			
4 プレロード費		1	式			
(第3段切ばり腹起し 工事費)計						
d 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
1 労務に係る法定福利費		1	式			
B 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
第 段切ばり腹起し工事費						
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 材料費						
第 段切ばり腹起し材料費						
(賃貸材)						
切ばり、腹起し、火打ち主材	H- ×		t日			
	H- ×		t日			
	H- ×		t日			
リース部材	H- ×		t日			
	H- ×					
リース部材	H- ×		t日			
	H- ×					
賃貸材 整備費	主材 部材		t			
賃貸材 推定損耗費	主材 部材		t			
搬入 運搬費	現場取降し費共		t			
搬出 運搬費	現場積込み費共		t			
油圧ジャッキ、油圧ポンプ 土圧計	台× 月		台月			
〃 整備費			台			
腹起し裏込パッキン賃貸料	整備費共		個日			
〃 推定損耗費 整備料	%		個			
賃貸材運搬費	搬入運搬費 現場取降し費共		t			
賃貸材運搬費	搬出運搬費 現場積込み費共		t			
基地積込取卸し費用			t			
小計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
中間杭打込み														
機械解体、搬出														
第一段切ばり腹起し架設														
第二段切ばり腹起し架設														
第二段切ばり腹起し解体														
第一段切ばり腹起し解体														
支持杭回収														

施 工 時 間	開始 午前	時	分	～	終了 午後	時	分
---------	-------	---	---	---	-------	---	---

施工方法

.....

.....

材料数量・施工数量

中間杭仕様	H													計
中間杭本数	本													
中間杭根入れ深さ	m													
中間杭延長	m													
根切り深さ	m													
第一段切ばり腹起し面積	m ²													
第二段切ばり腹起し面積	m ²													
使用水量	m ³													

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
重機回り敷き鉄板	○			詰所建物	○		
建設発生土処分(普通土)	○			労災保険	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			障害物撤去	○		
根固め材	○			試験掘	○		
腹起し裏詰めパッキン	○			照明用電力設備1次側	○		
盛替え用切りばり	○			給排水設備1次側	○		
プレロード(加圧・解体)	○			用水費(水道料金)	○		
				切ばり腹起し計測 管理	○		
				切ばり上点検通路	○		
				法定福利費	○		

- 注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
地盤アンカー工事						
A 地盤アンカー工事						
A-1 第1段地盤アンカー		1	式			
A-2 第2段地盤アンカー		1	式			
A-3 第3段地盤アンカー		1	式			
A-4 第4段地盤アンカー		1	式			
A 計						
B 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A-第 段地盤アンカー 工事						
1 準備費	段取り、組立等	1	式			
2 材料費						
アンカー材	埋め殺し $d_B \phi =$ アンカー長 m	1	式			内訳別紙
	台座等定着金物類共					
アンカー材	除去 $d_B \phi =$ アンカー長 m	1	式			内訳別紙
	台座等定着金物類共					
注入材	埋め殺し $d_B \phi =$ 削孔延長 m		m^3			
注入材	除去 $d_B \phi =$ 孔延長 m		m^3			
運搬費		1	式			
2 計						
3 施工費						
施工機械運搬組立解体費		1	式			
注入プラント組立解体費		1	式			
排水釜場		1	式			元請施工の場合は 参考見積り
削孔工	埋め殺し $d_B \phi =$ 削孔長 m× 本		m			内訳別紙
引張り材組立加工挿入	除去 $d_B \phi =$ 削孔長 m× 本		m			
	機械移設、削孔、泥水処理工 引張り材組立・加工・挿入等含					
注入打設工	$d_B \phi =$ 削孔長 m× 本		m^3			
	注入材混練製造工、注入工、 泥水処理工					
定着工	埋め殺し $d_B \phi =$ アンカー長 m		本			内訳別紙
定着工	除去 $d_B \phi =$ アンカー長 m		本			内訳別紙
除去工	$d_B \phi =$		m			内訳別紙
適性試験工			本			
3 計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
第一段地盤アンカー造成														
機械解体、搬出														
機械搬入、組立														
第二段地盤アンカー造成														
機械解体、搬出														
第二段地盤アンカー除去														
第一段地盤アンカー除去														

施 工 時 間	開始 午前 時 分 ～ 終了 午後 時 分
---------	-----------------------

施工方法

材料数量・施工数量

段 数								計
地盤アンカー 削孔径 $d_B \phi$								
地盤アンカー か所数 か所								
地盤アンカー 長さ m								
支持耐力 t								
根切り深さ m								
使用水量 m^3								
廃泥水量 m^3								

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料は m^3 または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック 欄に○印のものは見積を含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
搬入、段取替えレッカー	○			基本墨出し	○		
側溝、釜場、泥水処理等	○			詰所建物	○		
基本調査試験(引抜き試験)	○			労災保険	○		
品質保証試験(多サイクル確認試験)	○			障害物撤去	○		
品質保証試験(1サイクル確認試験)	○			試験掘	○		
グラウト材圧縮試験	○			照明用電力設備1次側	○		
山留め壁の削孔口の削孔	○			給排水設備1次側	○		
止水処理	○			用水費(水道料金)	○		
除去アンカーの残材処分	○			グラウンドアンカー計測 管理	○		
除去アンカーの穴埋め	○			アンカー設置借地料(隣地、道路等)	○		
埋設アンカー及び台座解体	○			アンカー機械場内移動用揚重機	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			アンカー作業用足場	○		
				近隣建物施設養生	○		
				埋設アンカーおよび台座解体	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中 平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

TEL — —
FAX — —

印 印 印

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
乗入れ構台工事						
A 構台杭工事費		1	式			
B 乗入れ構台工事費	下部構台 段	1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 構台杭工事費						
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 構台杭材料費						
(賃貸材日額損料)						
H- ×	L= × 本 t		t日			
H- ×	L= × 本 t		t日			
賃貸材 整備費			t			
賃貸材 損耗費			t			
搬入 運搬費	現場取降し費共		t			
搬出 運搬費	現場積込み費共		t			
基地積込取卸し費用			t			
小計						
(買取り材等)						
H- ×	L= × 本 t		t			
H- ×	L= × 本 t		t			
雑材料		1	式			
上記材料運搬費	t車 台 t車 台		組			
基地積込取卸し費用			t			
小計						
2 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3 施工費						
(1) 材料費	セメント、ペントナイト、フライアッシュ、砂等		m ³			
(2) 施工機械運搬組立解体費						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費		1	式			
(2) 計						
(3) 構台杭打込、撤去費						
(構台杭打込費)						
構台杭打込み	H- 工法 ×		m			
	施工機械、合番重機 根固め、消耗品、労務費共					
構台杭打込み	H- 工法 ×		m			
	施工機械、合番重機 根固め、消耗品、労務費共					
構台杭継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
構台杭継手	H- × 穴明け加工、ボルト継ぎ		か所			
	継手 PL- × 当板、ボルトナット等、材工共					
(構台杭打込費)小計						
(構台杭撤去費)						
構台杭撤去	H- 工法 ×		か所			
	引抜き機械、合番重機、 労務費、礎版部粗切断等含					
構台杭撤去	H- 工法 ×		か所			
	引抜き機械、合番重機、 労務費、礎版部粗切断等含					
(構台杭撤去費)小計						
(3) 計						
3 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4 汚泥処理費						
汚泥(泥土) 積込み	施工機械の賃貸料含む		m ³			
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		台			
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			
4 計						
5 建設発生土処理費						
建設発生土積込み	重機手間共		m ³			
建設発生土運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
建設発生土処分	tダンプ車 処分場		台			
5 計						
6 専用仮設費						
重機周り敷き鉄板	材工共	1	式			
6 計						
7 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
8 労務に係る法定福利費		1	式			
A 計						

[illegible]

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
a 上部構台工事費						
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 材料費						
上部構台材料費						
(賃貸材)						
覆工板	2,000×1,000		m ² 月			
覆工板	2,000×1,000/2		m ² 月			
覆工板 整備費			m ² 月			
覆工板 損耗費	%		m ² 月			
根太	H- ×		t日			
大引	H- ×		t日			
敷桁	H- ×		t日			
根太、大引等 整備費			t			
根太、大引等 損耗費	%		t			
賃貸材運搬費	搬入運搬費 現場取降し費共		t			
賃貸材運搬費	搬出運搬費 現場積込み費共		t			
基地積込取卸費用			t			
小計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
b 下部構台工事費	各段毎に記載					
b- 下部 段構台工事費						
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 材料費						
(売却材鋼材費)						
つなぎ材	[- × ×		t			
プレス材、取付け材			t			
雑材料		1	式			
材料運搬費	t車 台 t車 台		台			
基地積込費用			t			
2 計						
3 施工費						
下部 段構台架設、解体費	施工機械、合番重機、材料取卸し 消耗品、労務費共、積込費用含む		m ²			
3 計						
b- 計						

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
構台杭打込み														
機械解体、搬出														
上部架構架設														
下部架構架設														
下部架構解体														
上部架構解体														
構台支持杭回収														

施 工 時 間	開始 午前	時	分	～	終了 午後	時	分
---------	-------	---	---	---	-------	---	---

施工方法

材料数量・施工数量

構台杭仕様									計
構台杭本数	本								
構台杭根入れ深さ	m								
構台杭延長	m								
根切り深さ	m								
上部架構面積	m ²								
下部架構面積	m ²								
使用水量	m ³								

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
場内専用道路(支持杭等専用)	○			詰所建物	○		
重機回り敷き鉄板	○			労災保険	○		
建設発生土処分(普通土)	○			障害物撤去	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			試験掘	○		
構台上周囲手摺	○			照明用電力設備1次側	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	既製コンクリート杭工事					
1	準備費	1	式			
2	材料費	1	式			
3	施工費	1	式			
4	汚泥処理費	1	式			
5	専用仮設費	1	式			
6	建設発生土処理費	1	式			
7	諸経費	1	式			
	計					

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
借地料	機械組立て作業場	1	式			
1 計						
2 材料費						
PHCパイプ	φ × m 本継ぎ		本			
PHCパイプ	φ × m 本継ぎ		本			
PHCパイプ	φ × m 本継ぎ		本			試験杭
小 計						
特殊先端刃	φ 用		個			
フリクションカッター	φ 用		個			
杭頭金物	φ 用		個			
雑材料		1	式			
根固め材	セメント、ペントナイト、フライアッシュ、砂等		m ³			
小 計						
材料運搬費	t車 台 t車 台		組			
2 計						
3 施工費						
(1) 施工機械運搬組立解体費						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
施工機械搬入搬出費	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費	積降し労務共	1	式			
プラント組立解体費	積降し労務共	1	式			
(1) 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2) 既製杭打込み費						
PHCパイプ	φ × m 本継ぎ 施工機械、合番重機		本			
	根固め、消耗品、労務費共					
PHCパイプ	φ × m 本継ぎ 施工機械、合番重機		本			
	根固め、消耗品、労務費共					
PHCパイプ	φ × m 本継ぎ 施工機械、合番重機		本			試験杭
	根固め、消耗品、労務費共					
(2) 計						
3 計						
4 汚泥処理費						
汚泥(泥土) 積込み	産業廃棄物		m ³			
汚泥(泥土) 運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
汚泥(泥土) 処分	tダンプ車 処分場		台			
汚泥(泥水) 運搬	距離 km・ tバキューム車		台			
汚泥(泥水) 処分	tバキューム車 処分場		m ³			
4 計						
5 専用仮設費						
重機周り敷き鉄板		1	式			
5 計						
6 建設発生土処理費						
建設発生土積込み			m ³			
建設発生土運搬	距離 km tダンプ車		m ³			
建設発生土処分	tダンプ車 処分場		台			
6 計						
7 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
8 労務に係る法定福利費		1	式			
1～8 計						

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
杭施工														
場内移動														
機械解体、搬出														

施 工 時 間	開始 午前	時	分	～	終了 午後	時	分
---------	-------	---	---	---	-------	---	---

施工方法

材料数量・施工数量

杭径 φ	mm													計
杭本数	本													
杭種 上杭長さ	m													
杭種 中杭長さ	m													
杭種 下杭長さ	m													
杭1本の実数	m													
杭1本の掘削実数	m													
掘削延長	m													
杭延実長	m													
掘削土量	m ³													
使用水量	m ³													
廃泥水量	m ³													

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック 欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
重機回り敷き鉄板	○			詰所建物	○		
建設発生土処分(普通土)	○			労災保険	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			障害物撤去	○		
				試験掘	○		
				照明用電力設備1次側	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				杭頭処理	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 場所打ちコンクリート杭工事						
1 準備費		1	式			
2 施工費		1	式			
3 汚泥処理費		1	式			
4 建設発生土処理費		1	式			
5 専用仮設費		1	式			
6 諸経費		1	式			
A 計						
B 場所打ち杭材料費						
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
A 場所打ち杭工事費						参考見積
1 準備費						
準備費	段取り、組立等	1	式			
1 計						
2 施工費						
(1) 施工機械運搬組立解体費						
施工機械搬入搬出費	トレーラー t車 台 トラック t車 台		組			
〃 〃	トラック t車 台		台			
施工機械組立解体費	積降し労務共	1	式			
プラント 〃	積降し労務共	1	式			
(1)計						
(2) 場所打ち杭打込み費						
場所打ち杭	ϕ × . m 場所打ち杭掘削、スライム処理		本			
	鉄筋籠加工組立て 鉄筋籠挿入 コンクリート打設					
	施工機械、合番重機、雑材料 消耗品、労務費共					
場所打ち杭	ϕ × . m 場所打ち杭掘削、スライム処理		本			
	鉄筋籠加工組立て 鉄筋籠挿入 コンクリート打設					
	施工機械、合番重機、雑材料 消耗品、労務費共					
場所打ち杭	ϕ × . m 場所打ち杭掘削、スライム処理		本			
	鉄筋籠加工組立て 鉄筋籠挿入 コンクリート打設					
	施工機械、合番重機、雑材料 消耗品、労務費共					
(2)計						
2 計						
3 汚泥処理費						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
汚泥(泥土)積込み	産業廃棄物		m ³			
汚泥(泥土)運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
汚泥(泥土)処分	tダンプ車 処分場		台			
汚泥(泥水)運搬	距離 km・ tバキューム車		台			
汚泥(泥水)処分	tバキューム車 処分場		m ³			
3 計						
4 建設発生土処理費						
建設発生土積込み			m ³			
建設発生土運搬	距離 km・ tダンプ車		m ³			
建設発生土処分	tダンプ車 処分場		台			
4 計						
5 専用仮設費						
重機回り敷き鉄板		1	式			
杭頭部掘削跡埋戻し			m3			
5 計						
6 諸経費	法定福利費を除く	1	式			
7 労務に係る法定福利費		1	式			
1～7 計						
B 場所打ち杭材料費						参考見積
(生コンクリート)						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
生コンクリート	FC N/mm2		m ³			
生コンクリート	FC N/mm2		m ³			
生コンクリート	FC N/mm2		m ³			
構造体コンクリートと供試体の強度差の割増し			m ³			必要の場合
小 計						
(異形鉄筋)						
異形鉄筋	SD295A D10		t			
異形鉄筋	SD295A D13		t			
異形鉄筋	SD295A D16		t			
異形鉄筋	SD345 D10		t			
異形鉄筋	SD345 D13		t			
異形鉄筋	SD345 D16		t			
異形鉄筋	SD345 D19		t			
異形鉄筋	SD345 D22		t			
異形鉄筋	SD345 D25		t			
異形鉄筋	SD345 D29		t			
異形鉄筋	SD345 D32		t			
小 計						
(補強鋼材・スペーサー)						
FB	×		t			
FB・加工品	× L=		本			
小 計						
材料運搬費	t車 台 t車 台		組			
B 計						

工事見積条件・範囲リスト

予 定 工 期 (月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
機械搬入、組立														
杭施工														
場内移動														
機械解体、搬出														

施 工 時 間	開始 午前	時	分	～	終了 午後	時	分
---------	-------	---	---	---	-------	---	---

施工方法

材料数量・施工数量

杭径	m													計
杭本数	本													
杭1本の掘削実長	m													
杭1本の実長	m													
掘削延長	m													
杭延実長	m													
掘削土量	m ³													
使用水量	m ³													
廃泥水量	m ³													
コンクリート設計数量	m ³													
鉄筋設計数量	t													
スパーサー、補強鋼材	t													

建設発生土及び汚泥処分(経路は有料道路の利用の有無、処分料はm³または台数)

	指示	処分地(市区町村名)	単位	処分料	運搬経路	有料道路
建設発生土	☐ 有 ☐ 無					
汚泥処分	☐ 有 ☐ 無					

関連仮施設等の分担範囲区分(チェック 欄に○印のものは見積に含む)

専 門 業 者 の 範 囲				元 請 業 者 の 範 囲			
関連工事内容	指示	チェック	備考	関連工事内容	指示	チェック	備考
重機廻り敷き鉄板	○			詰所建物	○		
建設発生土処分(普通土)	○			労災保険	○		
汚泥処分(産業廃棄物)	○			障害物撤去	○		
杭頭部掘削跡埋戻し	○			試験掘	○		
				照明用電力設備1次側	○		
				給排水設備1次側	○		
				用水費(水道料金)	○		
				杭頭処理	○		
				法定福利費	○		

注1. 分担範囲において、専門業者の工法により追加する場合には、項目を作成し○または×を記入して下さい。
2. 元請業者の範囲が専門業者の範囲となる場合には、項目を作成し○を記入し元請業者の範囲のチェック欄に×を記入して下さい。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名

印

担 当

T E L

—

—

F A X

—

—

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事						
本体鉄骨		1	式			
付帯鉄骨		1	式			
合計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄骨工事						
[本体鉄骨]						
切板鋼板	規格等		t			
形鋼	規格、形状等		t			
ボックス柱	規格、形状等		t			
平鋼	規格等		t			
丸鋼	規格等		t			
スクラップ			t			
工場加工	工場溶接共		t			
工場錆止め塗装			t			
溶融亜鉛めっき	種別		t			
鉄骨運搬			t			
建方機械		1	式			
建方手間			t			
高力ボルト			t			
高力ボルト本締			本			
現場溶接			m			
現場錆止め塗装			m ²			
本体鉄骨工事費計						
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[付帯鉄骨等]						
鉄骨階段			t			
その他鉄骨			t			
一次ファスナー			t又は か所			
同上CW取付下地			t又は か所			
スリーブ補強			t又は か所			
アンカーボルト			か所			
アンカーフレーム			か所			
超音波探傷試験	工場及び現場 第三者	1	式			
高力ボルト検査		1	式			
デッキプレート等	規格、板厚等		m ²			
デッキ受金物			か所			
外周コンクリート止			m			
スタッドボルト			本			
シアークネクター			本			
専門仮設		1	式			
仮設金物		1	式			
付帯鉄骨等工事費計						
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						

工事見積条件・範囲リスト-1

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
本体鉄骨	1.本 柱	○		工場 錆止 塗装	1.下地処理	○	
	2.間 柱	○			2.工場塗装	○	
	3.大 ばり	○			3.タッチアップ	○	
	4.小 ばり	○					
	5.ブレース(鉛直)	○					
	6.ブレース(水平)	○					
	7.耐震壁	○					
	8.塔 屋	○					
付帯鉄骨				鉄骨 運搬	1.積み込み	○	
	1.ひ さ し	○			2.運搬	○	
	2.階段受柱・はり	○			3.荷降ろし	○	
	3.階 段	○			4.仕分け	○	
	4.階段手摺	○		柱 脚 処 理	1.アンカーボルト	○	
	5.屋上工作物	○			2.アンカーフレーム	○	
	6.PC板一次ファスナー	○			3.スパイラル筋取り付け	○	
	7.カーテンウォールファスナー	○			4.シアーコネクター	○	
床 関 連	8.ALC 板一次ファスナー	○		スリ ー ブ 補 強	5.テンプレート	○	
	1.デッキプレート	○			1.穴開けのみ	○	
	2.鉄 板 張	○			2.スリーブ付	○	
	3.床用鋼板	○			3.スリーブ補強	○	
	4.小口塞ぎ	○					
	5.コンクリート流止	○					
	6.デッキプレート 受梁	○					
	7.デッキプレート 受アングル	○					
	8.床板受け材	○					
	9.スタッドボルト 工場打	○		試 験	1.工場溶接試験 (超音波)	○	
	10.スタッドボルト 現場打	○			2.現場溶接試験 (超音波)	○	
					3.技量付加試験 (工場)	○	
					4. " (現場)	○	
					5.高力ボルト検査	○	

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。

工事見積条件・範囲リスト-2

[illegible]

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積りが確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —

F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ALC工事		1	式			
合計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ALC工事						
(外部)						
(品名等)	(仕様、サイズ、工法等)		m ²			
〃	〃		m			
〃	〃		か所			
〃	〃		m ²			〇個／m ²
(外部計)						
(内部)						
(品名等)	(仕様、サイズ、工法等)		m ²			
〃	〃		m			
〃	〃		か所			
〃	〃		m ²			〇個／m ²
(内部計)						
工事費計						
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.ALCパネル	○		運搬	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○	
	2.コーナーパネル	○			2.荷揚用機器の組立・解体・損料	×	
					3.材料等の場内水平小運搬	○	
					4.材料等の現場搬入	○	
					5.支給材の小運搬	○	
補助材料	1.開口補強金物	○		足場	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×	
	2.取付金物	○			2.脚立、足場板の損料	×	
	3.下地鋼材(一次)	×			3.ローリングタワーの移動	○	
	4.定規アングル	○			4.ローリングタワーの組立解体	×	
	5.かさ上げ鋼材	×		墨出	1.基本墨	×	
	6.床パネル受鋼材	×			2.仕上墨(小墨) (外壁)	○	
	7.事前埋め込み金物	×			3.仕上墨(小墨) (間仕切)	×	
	8.目地鉄筋	○		養生	1.施工中の養生	○	
	9.砂・普通セメント	○			2.元請への引渡前清掃	○	
シール	1.同部材間シーリング・耐火目地	○			3.検査引渡後の養生	×	
	2.他部材間シーリング・耐火目地	×		片付	1.持込み材の搬出処分	○	
	3.打継・伸縮目地シーリング	×			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
				機器	1.取付用揚重機器	×	
					2.吊り治具等	○	
取付加工	1.アッケー出し	○		図面	1.工場製作図	○	
	2.特殊切断加工	×					
仕上等	1.タイル仕上げ			見本			
	2.塗装仕上げ						
	3.撥水剤						
	4.左官仕上げの為の下地処理						
関連工事	1.ロックウール充填	○		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.足元均しモルタル	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.天井下地用インサート	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4.他工事の溝掘り、穴明け等	×			4.労災保険料	×	
	5.開口部廻り詰めモルタル	×			5.災害保険料	×	
					6.法定福利費	○	

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。

2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。

(注) 仕上等指示欄の太枠内は、当該工事の状況にあわせて、○か×を記入する

3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
 うち、法定福利費 円
 見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
 F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
石工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.石材	○		養生	1.施工中の養生	○	
					2.元請への引渡前清掃	○	
					3.検査引渡後の養生	×	
補助材料	1.引金物、番線	○		片付	1.持込み材の搬出处分	○	
	2.埋め込み金物	○			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	3.接着剤	○					
	4.急結モルタル	○					
	5.キャンバー・ウェス	○		機器	1.取付機器運搬	○	
	6.川砂、普通セメント	○			2.取付機器損料	○	
	7.取付用下地鉄筋	×					
	8.目地モルタル材	○					
	9.後施工アンカー	○					
シール	1.同部材間シーリング	×		図面	1.詳細図	○	
	2.他部材間シーリング	×					
	3.打継・伸縮目地シーリング	×					
取付加工	1.設備に伴う穴明け	○		見本	1.見本品	○	
	2.裏面処理、裏打処理	○			2.見本張	×	
	3.目地詰め	○					
運搬	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.材料等の場内水平小運搬	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4.材料等の現場搬入	○			4.労災保険料	×	
	5.支給材の小運搬	○			5.災害保険料	×	
足場					6.法定福利費	○	
	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×					
	2.脚立、足場板の損料	×					
	3.ローリングタワーの移動	○					
	4.ローリングタワーの組立解体	×					
墨出し	1.基準墨	×					
	2.仕上墨(小墨)	○					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。

2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。

(注) PC版打込の場合は、別途条件書による。

3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L - -
F A X - -

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
タイル工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

[illegible]

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。

(注) PC版打込の場合は、別途条件書による。

図面・詳細図指示欄の太枠内は、当該工事の状況に合わせ ○印か ×印 を記入する。

3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号 _____

見 積 書

..... 御中 平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所
会 社 名 印
担 当
T E L
F A X
.....

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.木材 (米榑上小節、米榑1等 等)	○		養生	1.施工中の養生	○	
					2.元請への引渡前清掃	○	
					3.検査引渡後の養生	×	
補助材料	1.取付用金物類(釘、接着剤等)	○		片付	1.持込み材の搬出处分	○	
	2.躯体埋込取付用金物(アンカーボルト、インサート等)	×			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	3.下地材(飼モルタル、ブロック等)	×					
シール				機器	1.取付機器運搬	○	
					2.取付機器損料	○	
取付加工				図面	1.詳細図	○	
運搬	1.部材組立・取付	○		見本	1.見本品	○	
	2.部材切断、仕口・継手加工	○					
足場	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.材料等の場内水平小運搬	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4.材料等の現場搬入	○			4.労災保険料	×	
墨出し	5.支給材の小運搬	○			5.災害保険料	×	
					6.法定福利費	○	
	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×					
	2.脚立、足場板の損料	×					
	3.ローリングタワーの移動	○					
	4.ローリングタワーの組立解体	×					
	1.基準墨	×					
	2.仕上墨(小墨)	○					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号 _____

見 積 書

.....御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所 _____

会 社 名 _____ 印

担 当 _____

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
金属工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.鋼材、アルミ、ステンレス等金属材料	○		養生	1.施工中の養生	○	
	2.その他:	○			2.元請への引渡前清掃	○	
					3.検査引渡後の養生	×	
補助材料	1.溶接棒	○		片付	1.持込み材の搬出处分	○	
	2.錆止塗料	○			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	3.その他材料:	○					
シール	1.同部材間シーリング	○		機器	1.取付機器運搬	○	
	2.他部材間シーリング	×			2.取付機器損料	○	
取付加工	1.工場製作	○		図面	1.工場製作図、詳細図	○	
	2.錆止塗装 1回	○					
	3.現場取付、仕上	○					
運搬	1.工場製作	○		見本	1.見本品	○	
	2.錆止塗装 1回	○					
	3.現場取付、仕上	○					
足場	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.材料等の場内水平小運搬	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
墨出し	4.材料等の現場搬入	○			4.労災保険料	×	
	5.支給材の小運搬	○			5.災害保険料	×	
					6.法定福利費	○	
	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×					
	2.脚立、足場板の損料	×					
	3.ローリングタワーの移動	○					
	4.ローリングタワーの組立解体	×					
	1.基準墨	×					
	2.仕上墨(小墨)	○					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中 平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
金属製建具工事						
アルミ製建具		1	式			
鋼製建具		1	式			
鋼製軽量建具		1	式			
ステンレス製建具		1	式			
合計						

[illegible]

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鋼製建具						
SD -1	片開きフラッシュドア	W 800×H1,900 杢ずりステンレス	1	か所		
	シリンダー錠	1	か所			
	ドアクローザー	1	か所			
	丁番	1	か所			
	小計	○	か所			
SD -2	両開きフラッシュドア	W2,000×H2,000 杢見込 100	1	か所		
	シリンダー錠	1	か所			
	ドアクローザー	2個／か所	1	か所		
	順位調整器	1	か所			
	ピボットヒンジ	2個／か所	1	か所		
	小計	○	か所			
	製品代計					
	運搬費	1	式			
	取付費	1	式			
	諸経費	法定福利費を除く	1	式		
	法定福利費	1	式			
	計					

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	鋼製軽量建具					
LD -1	片開きフラッシュドア	W 800×H1,900 杢ずりステンレス	1	か所		
	シリンダー錠	1	か所			
	ドアクローザー	1	か所			
	ピボットヒンジ	1	か所			
	小計	○	か所			
LD -2	両開きフラッシュドア	W2,000×H2,000 杢見込 100	1	か所		
	シリンダー錠	1	か所			
	ドアクローザー	2個／か所	1	か所		
	順位調整器	1	か所			
	ピボットヒンジ	2個／か所	1	か所		
	小計	○	か所			
	製品代計					
	運搬費	1	式			
	取付費	1	式			
	諸経費	法定福利費を除く	1	式		
	法定福利費	1	式			
	計					

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ステンレス製建具						
SSD -1 両袖固定窓欄間付 両開き框ドア	HL仕上げ 枠見込 100 W3,600×H2,500	1	か所			
フロアヒンジ	2個／か所	1	か所			
シリンダー本締錠		1	か所			
押し棒	2組／か所	1	か所			
小計		○	か所			
SSD -2 両袖固定窓欄間付 両開き框ドア	鏡面仕上げ 枠見込 100 W3,600×H2,500	1	か所			
(自動ドア開閉装置)	(電気式)	1	か所			
	エンジンコントローラー 赤外線反射スイッチ、安全ビーム					
小計		○	か所			
SSD -3 自由両開強化ガラスドア枠	W1,837×H2,147	1	か所			
小計		○	か所			
製品代計						
運搬費		1	式			
取付費		1	式			
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
法定福利費		1	式			
計						

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.建具製品本体 水切シーリング	○		養生	1.施工中の養生	○	
	2.建具金物(図面指示によるもの)	○			2.元請への引渡前清掃	○	
	シリンダー錠、ドアクローザー、押板、フロアヒンジ、 ピボットヒンジ等				3.検査引渡後の養生	×	
	3.付属品(図面指示によるもの)	○		片付	1.持込み材の搬出処分	○	
	アングル、額縁、膳板、水切、結露受、笠木、 ボーダー、網戸、ファンコイルカバー、カーテンボックス、 フラッシング、排水パイプ、手摺等				2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	4.ガラス	×					
補助材料	1.取付用鉄筋、くさび	×		機器	1.取付機器運搬	○	
	2.サッシ廻りモルタル詰め	×			2.取付機器損料	○	
	3.サッシアンカー	×					
シール	1.同部材間シーリング	○		図面	1.工場製作図	○	
	2.他部材間シーリング	×					
取付加工	1.部材組立	○		見本	1.見本品	○	
	2.躯体への取付(鉄筋、くさび使用)	○					
	3.アンカー出し	○					
	4.ガラス嵌込み	×					
運搬	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		建具関連	1.煙感知器	×	
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2.排煙窓等 オペレーター	○	
	3.材料等の場内水平小運搬	○			3.自動開閉装置	×	
	4.材料等の現場搬入	○					
	5.支給材の小運搬	○					
足場	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.脚立、足場板の損料	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.ローリングタワーの移動	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4.ローリングタワーの組立解体	×			4.労災保険料	×	
墨出し	1.基準墨	×			5.災害保険料	×	
	2.仕上墨(小墨)	○			6.法定福利費	○	

(凡例)

- 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
- 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
・追加見積条件、他
建具仕様については、別紙製品仕様表によるものとし、それ以外のものについては見積内訳書に記入する。
- 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

金属製建具製品仕様表

製品仕様	アルミ製建具	鋼製建具	鋼製軽量建具	ステンレス製建具
材 料	押出形材 JIS H4100のA6063S-T₅ 板材 JIS H4000のA1100P	鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 亜鉛付着量(両面) ☐ 60kg/㎡以上 ☐ 120kg/㎡以上 型鋼 JIS G3101	鋼板 表面処理亜鉛めっき鋼板 亜鉛付着量(両面) ☐ 60kg/㎡以上 扉表面板の厚さ ☐ 0.6mm ☐ 0.8mm	鋼板 JIS G4305のSUS304
枠見込寸法	☐ 70 ☐ 80 ☐ 100 ☐	☐ 86 ☐ 100 ☐ 120 ☐	☐ 80 ☐ 86 ☐ 100 ☐ 120 ☐	☐ 100 ☐ 120 ☐
耐 風 圧 性	☐ S-4(2000Pa) ☐ S-5(2400Pa) ☐ S-6(2800Pa) ☐ S-7(3600Pa) ☐			
気 密 性	☐ A-2(30) ☐ A-3(8) ☐ A-4(2) ☐			
水 密 性	☐ W-3(250Pa) ☐ W-4(350Pa) ☐ W-5(500Pa) ☐			
遮 音 性	☐ T-1(25) ☐ T-2(30) ☐ T-3(35) ☐ T-4(40) ☐			
断 熱 性	☐ H-1(0.22) ☐ H-2(0.25) ☐ H-3(0.28) ☐ H-4(0.34) ☐ H-5(0.43) ☐			
表面処理防錆塗装表面仕上	表面処理 ☐ 皮膜 ☐ 無着色陽極酸化皮膜 ☐ 電解着色による陽極酸化皮膜 種別 種類 皮膜の厚さ 塗膜の厚さ(μm) ☐ A-1 ☐ AA15(平均15以上) ☐ A-2 ☐ B-1 ☐ A2 ☐ 平均5以上 ☐ 以上 ☐ B-2 ☐ B ☐ 平均5以上 ☐ 以上 ☐ C ☐ 平均5以上 ☐ 以上 ☐ ☐ 焼付塗装 (ソリッド メタリック μm)	防錆塗装 素地ごしらえ及び錆止め 塗装(工場一回塗) ☐ 当社標準錆止め塗料 ☐ JIS K5629 ☐ 焼付塗装	防錆塗装 素地ごしらえ及び錆止め 塗装(工場一回塗) ☐ 当社標準錆止め塗料 ☐ JIS K5629 扉表面板 ☐ 亜鉛めっき鋼板 ☐ 塩化ビニール積層鋼板 ☐ 焼付塗	表面仕上 ☐ ヘアライン ☐ 鏡面 ☐ カラー ☐ エッチング ☐ バイブレーション
その他	網戸の網の種類 ☐ 合成樹脂製 ☐ ガラス繊維入り合成樹脂製 ☐ ステンレス製		扉の芯材 ☐ ペーパーコア ☐ 水酸化アルミ無機シートコア ☐ 発泡材	曲げ加工 ☐ 普通曲げ ☐ 角出し曲げ
形 式 及 び 備 品				

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
 うち、法定福利費 円
 見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名

印

担 当

T E L

—

—

F A X

—

—

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シャッター工事		1	式			
合計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
シャッター						
SS-1 電動重量シャッター	t=1.6 W5,000×H3,000	1	か所			
電動開閉装置	3φ 200V	1	か所			
ステンレスレール HL	t=1.5 H=3,000 2本/か所	1	か所			
ステンレスまぐさ HL	t=1.5 w=5,000	1	か所			
ステンレス座金 HL	t=1.5 w=5,000	1	か所			
小計		○	か所			
SS-2 電動防煙シャッター	t=1.6 W5,000×H3,000	1	か所			
電動開閉装置	3φ 200V	1	か所			
ステンレスレール HL	t=1.5 H=3,000 2本/か所	1	か所			
ステンレスまぐさ HL	t=1.5 w=5,000	1	か所			
ステンレス座金 HL	t=1.5 w=5,000	1	か所			
自動閉鎖装置		1	か所			
手動閉鎖装置	ステンレス	1	か所			
小計		○	か所			
製品代計						
運搬費		1	式			
取付工事		1	式			
二次側結線調整費		1	式			
防災機器取付費		1	式			
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.シャッター本体	○		養生	1.施工中の養生	○	
	スラット、座板、ガイドレール、まぐさ、ケースシャフト等				2.元請への引渡前清掃	○	
	2.開閉装置	○			3.検査引渡後の養生	×	
	開閉機、ハンドル、チェーン等			片付			
					1.持込み材の搬出处分	○	
					2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
補助材料	1.取付用鉄筋、くさび	×		機器	1.取付機器運搬	○	
	2.レール廻りモルタル詰め	×			2.取付機器損料	○	
	3.差し筋	×					
シー ル	1.同部材間シーリング	○		図 面	1.工場製作図	○	
	2.他部材間シーリング	×					
取 付 加 工	1.部材組立	○		見 本			
	2.躯体への取付(鉄筋、くさび使用)	○					
	3.アンカー出し	○					
運 搬	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		建 具 関 連	1.遠隔操作装置用の二次側配管・配線	×	
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2.防災工事の一次側、二次側配管・配線	×	
	3.材料等の場内水平小運搬	○			3.自動開閉装置(煙感・熱感連動)	○	
	4.材料等の現場搬入	○			4.手動開閉装置(防火、防煙に使用)	○	
	5.支給材の小運搬	○			5.二次側配線	○	
					6.自動開閉装置の結線・調整	○	
足 場	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×		そ の 他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.脚立、足場板の損料	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.ローリングタワの移動	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4.ローリングタワの組立解体	×			4.労災保険料	×	
					5.災害保険料	×	
墨 出 し	1.基準墨	×			6.法定福利費	○	
	2.仕上墨(小墨)	○					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名

印

担 当

T E L

—

—

F A X

—

—

印

印

印

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
木製建具工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.木製建具(採寸含む)	○		養生	1.施工中の養生	○	
	2.建具用木枠	○			2.元請への引渡前清掃	○	
					3.検査引渡後の養生	×	
補助材料	1.建具金物(握玉タイプ・空錠・戸当り・丁番)	○		片付	1.持込み材の搬出処分	○	
	2.ビス	○			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
				機器	1.取付機器運搬	○	
					2.取付機器損料	○	
シール				図面			
					1.詳細図	○	
取付加工	1.建具吊込み	○		見本			
	2.金物取付	○					
	3.金物取付用加工	○					
	4.建具削り合わせ	○					
	5.塗装	×					
運搬	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.材料等の場内水平小運搬	○			3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4.材料等の現場搬入	○			4.労災保険料	×	
	5.支給材の小運搬	○			5.災害保険料	×	
					6.法定福利費	○	
足場	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×					
	2.脚立、足場板の損料	×					
	3.ローリングタワーの移動	○					
	4.ローリングタワーの組立解体	×					
墨出し	1.基準墨	×					
	2.仕上墨(小墨)	○					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガラス工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1. ガラス	○		養生	1. 施工中の養生	○	
	2. ガラスブロック	○			2. 元請への引渡前清掃	○	
					3. 検査引渡後の養生	×	
					4. 竣工引渡前クリーニング	×	
補助材料	1. エッジスパーサー	○		片付	1. 持込み材の搬出处分	○	
	2. ビート、チャンネルゴム	×			2. 発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	3. セッティングブロック	×					
	4. シーリング、バックアップ材	○					
	5. 目地モルタル	○		機器	1. 取付機器運搬	○	
	6. 川砂、普通セメント	×			2. 取付機器損料	○	
	7. ガラスブロック積用の鉄筋	○					
シール				図面			
取付加工	1. サッシへの嵌込み	○		見本	1. 見本品	○	
	2. メーカーのセンターでの切断・加工	○					
	3. 現場での切断・加工	○					
運搬	1. 荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○		その他	1. 作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2. 荷揚用機器(組立・解体・損料)	×			2. 工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3. 材料等の場内水平小運搬	○			3. 現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
	4. 材料等の現場搬入	○			4. 労災保険料	×	
	5. 支給材の小運搬	○			5. 災害保険料	×	
足場	1. 脚立、足場板の組立・解体・移動	×			6. 法定福利費	○	
	2. 脚立、足場板の損料	×					
	3. ローリングタワの移動	○					
	4. ローリングタワの組立解体	×					
墨出し	1. 基準墨	×					
	2. 仕上墨(小墨)	○					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
 うち、法定福利費 円
 見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
 F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
アルミカーテンウォール工事		1	式			
合計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1. 建具製品本体	○		運搬	1. 荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○	
	2. パネルボード	○			2. 荷揚用機器の組立・解体・損料	×	
	3. 建具金物	○			3. 材料等の場内水平小運搬	○	
	4. 付属品(図面指示によるもの)	○			4. 材料等の現場搬入	○	
	笠木、下部見切、ホーダー、軒天井、ブライント ボックス、膳板、額縁、鉄骨カバー、フラッシング 層間塞ぎ、オペレーター 等				5. 支給材の小運搬	○	
補助材料	5. ガラス	×		足場	1. 脚立、足場板の組立、解体、移動	×	
					2. 脚立、足場板の損料	×	
					3. ローリングタワーの移動	○	
					4. ローリングタワーの組立解体	×	
	1. 取付用鉄筋、くさび	×		墨出	1. 基本墨	×	
	2. サッシュ廻りモルタル詰	×			2. 仕上墨(小墨) (外壁)	○	
	3. サッシュアンカー	×					
	4. 取付金具 一次ファスナー、埋込みアンカー	×		養生	1. 施工中の養生	○	
	5. 取付金具 二次ファスナー	○			2. 元請への引渡前清掃	○	
					3. 検査引渡後の養生	×	
シール	1. 同部材間シーリング	○		片付	1. 持込み材の搬出处分	○	
	2. 他部材間シーリング	×			2. 発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
				機器	1. 取付用揚重機器	×	
					2. 吊り治具等	○	
				図面	1. 工場製作図	○	
取付加工	1. 躯体への取付(鉄筋、くさび使用)	○		見本	1. 実験用供試体工事	×	
	2. アンカー出し	○			2. 見本品及び模型製作	×	
	3. ガラス嵌込み	×		その他	1. 作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
					2. 工所用電力・給水設備並びに使用料金	×	
					3. 現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
					4. 労災保険料	×	
					5. 災害保険料	×	
					6. 法定福利費	○	

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。

2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。

・追加見積条件、他

建具仕様については、別紙製品仕様表によるものとし、それ以外のものについては見積内訳書に記入

3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

メタルカーテンウォール製品仕様表

本体製品仕様				5. 補強鉄骨			
1. 方式							
ノックダウン	☐ 方立タイプ	☐ 横通しタイプ	☐ 等圧	部材・材料寸法		見 積	仕上・範囲
ユニット	☐ グリッドタイプ		☐ 断熱			☐ 含 ☐ 別	
その他			☐			☐ 含 ☐ 別	
2. 形式				6. 取付金具			
標 準				見積に含むもの		材 質	
オータマー			新型 ☐ 有 ☐ 無	☐ 一次ファスター ☐ 二次ファスター ☐ 先埋めアンカー ☐ スタッドアンカー (埋め込み含まず)		☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
3. 性能				7. 付属品の仕様・範囲			
耐風圧性	一般部	☐ S-4(2000Pa) ☐ S-5(2400Pa) ☐ S-6(2800Pa) ☐ S-7(3600Pa)		名 称	見 積	材 質	仕上・範囲
	負圧部	☐ S-4(2000Pa) ☐ S-5(2400Pa) ☐ S-6(2800Pa) ☐ S-7(3600Pa)		笠 木	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
水密性	FIX部	☐ W-3(250Pa) ☐ W-4(350Pa)		下部見切	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
	可動部	☐ W-3(250Pa) ☐ W-4(350Pa)		ホーマーター	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
気密性	FIX部	☐ A-2(30) ☐ A-3(8) ☐ A-4(2)		軒天井	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
	可動部	☐ A-2(30) ☐ A-3(8) ☐ A-4(2)		ブラインドBOX	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
4. 材料・仕上				膳板・額縁	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
材 料	アルミニウム	スチール	ステンレス	鉄骨カハマー	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
	押出形材 JIS H4100 A6063S-T5 板材 JIS H4000 A1100P	鋼材 亜鉛めっき鋼板 フッ素樹脂鋼板 形鋼 JIS G3101 ホーロー鉄板	鋼板 JIS G4305 SUS304	フラッシング	☐ 含	☐ AL ☐ ST ☐ SUS	
表面処理	☐ 無着色陽極 膜厚(μm)		表面仕上 ☐ ヘヤーライン ☐ 鏡面仕上 ☐ カラー ☐ エッチング 曲げ加工 ☐ 普通曲げ ☐ 角出し曲げ	層間塞ぎ	☐ 含		
	☐ 電解着色による陽極酸 膜厚(μm) ☐ 焼付塗装 膜厚(μm)			オペレーター	☐ 含		
パネル	材 質	☐ AL ☐ ST ☐ SUS t=					
☐ 含	裏打材	☐ 岩綿 ☐ 発泡ウレタン t=					
	☐ 含 ☐ 別	☐ アンダーコート t=					
ボード	☐ 耐火	t=		仕上塗装 ☐ 含 ☐ 別			
☐ 含	☐ 目隠	(有孔・平) t=		仕上塗装 ☐ 含 ☐ 別			

御中

平成 年 月 日

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住所

会社名 印

担 当

T E L	—	—
F A X	—	—

印

印

印

— 99 —

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
PCカーテンウォール						
1 PC版取付						
PC-1	W1,500×H1,500		枚			
PC-2	W1,800×H3,800		枚			
PC-3	W2,000×H3,800		枚			
PC-4	W2,100×H3,800		枚			
PC-5	W2,200×H3,800		枚			
PC-6	W2,300×H3,800		枚			
PC-7	W2,400×H3,800		枚			
小計						
2 運搬						
運搬		1	式			
小計						
3 連結用金物						
連結用金物	F-1		組			
連結用金物	F-2		組			
小計						
4 PC版取付						
取付			枚			
小計						
5 取付用機械器具						
機械器具		1	式			
小計						
6 シーリング						
シーリング	PC対PC間二次シール		m			
十字文字部ガasket			か所			
耐火目地			m			
小計						
工事費計						

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.コンクリート	○		運搬	1.荷揚(荷揚用機器への積込、積下ろし手間)	○	
	2.鉄筋	○			2.荷揚用機器の組立・解体・損料	×	
					3.材料等の場内水平小運搬	○	
					4.材料等の現場搬入	○	
					5.支給材の小運搬	○	
				足場	1.脚立、足場板の組立、解体、移動	×	
					2.脚立、足場板の損料	×	
					3.ローリングタワーの移動	○	
					4.ローリングタワーの組立解体	×	
補助材料	1.部材取付用先付金物	○		墨出	1.基本墨	×	
	2.水抜パイプ	×			2.仕上墨(小墨) (外壁)	○	
	3.後付サッシュ用金物	×					
	4.ゴンドラレール用金物	×					
	5.二次ファスナー(連結用金物)	○		養生	1.施工中の養生	○	
	6.一次ファスナー(躯体先付金物-台座共)	×			2.元請への引渡前清掃	○	
	7.設備及び建築用金物	×			3.検査引渡後の養生	×	
	8.ベースモルタル等	×					
シール	1.サッシュ廻りシーリング	×		片付	1.持込み材の搬出処分	○	
	2.PC対PC間一次シール	×			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	3.PC対PC間二次シール	○		機器			
	4.PC対他部材間一次シール	×			1.取付用揚重機器	×	
	5.PC対他部材間二次シール	×			2.吊り治具等	○	
	6.水切用フラッシング	○					
	7.ゴンドラレール廻りシール	×					
	8.PC対PC間・耐火目地	○		図面	1.工場製作図	○	
	4.PC対他部材間・耐火目地	×			2.打込タイル・石割付図	○	
取付加工	1.躯体への取付	○		見本	1.実験用供試体工事	×	
	2.アンカー出し	○			2.見本品及び模型製作	×	
仕上等	1.先付サッシュ枠取付	○		その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
	2.室内側化粧目地	×			2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
	3.後付サッシュ取付 工場運営費	×			3.現場詰所・資材倉庫等仮設物	×	
	4.ガラス先付 工場運営費	×			4.労災保険料	×	
	5.先付サッシュ養生材剥取掃除	×			5.災害保険料	×	
関連工事					6.法定福利費	○	
	1.後張り断熱材	×					
	2.吹付け断熱材	×					
	3.連結用金物の耐火被覆	×					
	4.PC対他部材間の層間塞ぎ	×					

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。

2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。

一次と二次：一次は発注者側(総合工事業者側)、二次は専門工事業者側が分担するもの

3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

* 打込み材のある場合 *

石打込の場合	指示	確認	タイル打込の場合	指示	確認	塗装仕上の場合	指示	確認
1.先付石取付け	○		1.先付タイル取付け	○		1.化粧用ゴムマット	×	
2.石対石間目地シール	○					2.同上敷込み手間	×	
3.石対他材間シール	○					3.塗装工事工場運営費	×	

御中

見積金額	円
うち、法定福利費	円
見積金額には消費税は含んでおりません。	

住所

会社名 印

担 当

T E L	—	—
F A X	—	—

印	印	印
---	---	---

– 103 –

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

[illegible]

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積りが確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円

うち、法定福利費 円

見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —

F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 電動式集密書架		1	式			
2 固定式書架		1	式			
計						
(共通仮設費)		1	式			
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						
合 計						

注：(共通仮設費)は必要に応じ計上する。

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 電動式集密書架						
電動式集密書架	複式移動 連段		台			主操作盤付き
〃	〃		台			
〃	〃		台			
〃	単式移動 連段		台			
レール	ステンレス製(SUS304)		m			
〃	スチール製		m			
〃	OAフローア対応型レール		m			
(露出レール床張り式)			m ²			
感電式落下防止バー			本			
ブックサポート			本			
予備棚板			枚			
踏み台			台			
運搬・施工費		1	式			
計						
2 固定式書架						
固定書架	複式 連段		台			
〃	〃		台			
〃	単式 連段		台			
頭繋ぎ			m			
予備棚板			枚			
ブックサポート			本			
運搬・施工費		1	式			
計						

工事見積条件・範囲リスト

名 称		範 囲		名 称		範 囲	
		指示	確認			指示	確認
主材料	1.書架本体(JIS-S-1039)	○		養生	1.施工中の養生	○	
					2.元請への引き渡し前清掃	○	
					3.検査引き渡し後の養生	×	
補助材料	1.レール(ステンレスSUS-304)	○		片付	1.持ち込み材の搬出处分	○	
	2.レール(スチール)	○			2.発生材(ごみ等)の指定場所集積	○	
	3.後施工アンカー・ビス	○					
	4.化粧パネル、背当たり・側板・天板・見出し・ブックエンド	○					
	5.床張り	×					
取付工事	1.書架本体取付工事	○		機器	1.取付機器運搬	○	
	2.レール取付	○			2.取付機器損料	○	
	3.二次側以降の電気配線工事	○					
	4.レール設置後の床面モルタル埋め戻し	○					
	5.床張り	×					
運搬	1.荷揚げ(荷揚げ用機器への積込、荷下ろし手間)	○		図面	1.設計図	○	
	2.荷揚げ用機器(組立・解体・損料)	○					
	3.材料等の場内小運搬	○					
	4.材料等の小運搬	○					
	5.支給品の小運搬	○					
墨出し	1.基準墨	×		見本	1.塗色見本板	○	
	2.仕上げ墨(小墨)	○					
				その他	1.作業時間 昼間(8:00～17:00)	○	
					2.工事用電力・給水設備並びに使用料金	×	
					3.現場詰所・資材倉庫等の仮設物	×	
					4.労災保険料	×	
					5.災害保険料	×	
					6.法定福利費	○	

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名 印

担 当

T E L — —
F A X — —

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(樹 木 費)						
1 低木		1	式			
2 中低木		1	式			
3 高木		1	式			
芝張り			m ²			
植栽基盤整備			m ²			
植込み用土			m ³			
植込費		1	式			
支柱費		1	式			
ツリーサークル			か所			
(共通仮設費)		1	式			
諸経費	法定福利費を除く	1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						

注：（共通仮設費）は必要に応じて計上する。

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称	範 囲	
	指示	確認
1.材料	樹木(規格品・特殊樹木・支給品)	○
	幹巻材	○
	支柱材	○
	地被植物	○
	芝・目土	○
2.植え付け作業	植え穴掘削	○
	植え付け	○
	幹巻き	○
	風除支柱	○
	芝張り付け	○
3.敷地造成	造成	×
	除草・伐開・除根	○
	除礫	○
4.植栽基盤	植栽地の確認	○
	基盤整備工(A・B・C・D)	×
	植込み用土	×
	土壌改良	×
	肥料	○
5.運搬・処分	材料等の現場搬入	○
	場内小運搬	○
	荷揚げ用機器	○
	発生枝葉・処分	○
	建設発生土処分(場内)	○
6.養生	防風ネット	×
	寒冷紗巻き	×
	植え穴透水層	×
	空気管	×
	マルチング	×
	検査引き渡し後の養生・管理	×
7.図面	施工図	○
	完成図	×
8.その他	作業時間(8:00～17:00)	○
	労災保険	○
	災害保険	○
	植樹保険	×
	枯れ保証	○
	法定福利費	○
9.仮設	仮設電気設備・電気料金	○
	仮設給水設備・水道料金	○
	現場詰所・倉庫	○

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積内容に含み、×印の項目は含まない。
3. ヤシ類、自然形樹木、仕立物等の特殊樹木は別途条件書による。
4. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。

見積番号

見 積 書

御中

平成 年 月 日

見積金額 円
うち、法定福利費 円
見積金額には消費税は含んでおりません。

工 事 名 (及び担当専門工事)	
工 事 場 所	
見積有効期間	平成 年 月まで
支 払 条 件	
工期又は納期	平成 年 月まで
受 渡 場 所	工事場所に同じ

住 所

会 社 名

印

担 当

T E L

—

—

F A X

—

—

印	印	印
---	---	---

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
[直接工事費]						
1 直接仮設費		1	式			
2 解体費		1	式			
3 特殊仮設費		1	式			
計						
[共通費]	法定福利費を除く					
共通仮設費		1	式			別紙明細-1
現場経費		1	式			
一般管理費等		1	式			
労務に係る法定福利費		1	式			
計						
合 計						

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1 直接仮設						
(足場等)			掛けm ²			
〃			m ²			
仮設材運搬費		1	式			
後片付け清掃費		1	式			
計						
2 解体費						
(品名等)	(部位等)		m ³			
〃	〃		m ²			
〃	〃		か所			
(集積積み等)		1	式			
とりこわし材運搬	(種別等)		m ³			
〃	〃		t			
とりこわし機械運搬		1	式			
計						
3 特殊仮設費						
(補強サポート)			m ²			
(山留め)	支保工共	1	式			
(乗入構台)			m ²			
計						

別紙明細-1 共通仮設費

[illegible]

工事見積条件・範囲リスト

名 称	摘 要	元請の場合		下請の場合		備 考
		指 示	確 認	指 示	確 認	
1. 共通仮設	・電柱移設・復旧	○		×		
	・電線養生	○		×		
	・街路灯移設・復旧	○		×		
	・交通標識移設・復旧	○		×		
	・ガードレール移設・復旧	○		×		
	・街路樹移植・復旧	○		×		
	・歩道切下げ・復旧	○		×		
	・仮囲い	○		×		
	・門扉	○		×		
	・敷き鉄板等	○		○		
	・仮設詰所 トイレ共	○		×		
	・机、椅子、書棚、ロッカー等	○		×		
	・仮設電気設備	○		×		
	・仮設給排水設備	○		×		
	・電力用水費	○		×		
	・通信・信号設備	○		×		
	・交通整理員等	○		○		
	・安全対策費	○		×		
	・道路占有費	○		×		
	・防止施設	○		×		
	・清掃	○		×		
	・借地・借家	○		×		
2. 直接仮設	・外部足場	○		×		
	・内部足場	○		×		
	・防音パネル	○		×		
	・シート類	○		×		
	・仮設材運搬費	○		×		
	・後片付け清掃費	○		×		
3. 解体	・鉄筋コンクリート解体	○		○		
	・鉄骨鉄筋コンクリート解体					
	・鉄骨造解体					
	・無筋コンクリート解体	○		○		
	・CB積み等解体	○		○		
	・鉄筋切断	○		○		
	・鉄骨切断					
	・カーテンウォール解体					
	・内装材とりこわし	○		○		
	・金属製建具類とりこわし	○		○		
	・設備機器及び配管類	○		○		
	・従物類(流し台等)	○		○		
	・コンクリート類集積積み込み	○		○		
4. 発生材処分	・コンクリート類運搬	○		○		
	・内装材集積積み込み	○		○		
	・内装材運搬	○		○		
	・とりこわし材処分	×		×		
	・有価物処理費(鉄筋、鉄骨、金属製建具)	×		×		
	・地下部分解体用根切り	○		×		
5. 土工	・補強サポート	○		×		
6. 特殊仮設費	・山留め(支保工)	○		×		
	・乗入構台	○		×		
7. その他	・作業時間(8:00～17:00)	○		○		
	・労災保険	○		○		
	・災害保険	○		○		
	・法定福利費	○		○		
8. 再利用	・コンクリート、木材類の分別解体	○		○		

(凡例)

1. 指示欄には発注者が指示の意向を、確認欄には見積者が確認の意向を、記号(○または×)で記入する。
2. 範囲の指示・確認欄の記号は、○印の項目については見積書内容に含み、×印の項目は含まない。
3. 法定福利費とは、雇用保険法、健康保険法、介護保険法及び厚生年金保険法に規定されている事業主が負担する福利費である。